

新潟市議会議員

いしづき

石附 幸子 議会活動レポート

17

新潟市議会

市民ネットにいがた 市政報告



令和6年能登半島地震、新潟西区の被災地を歩いて考える

1月1日の能登半島地震で、お亡くなりになられた皆さまにお悔やみ申し上げるとともに、被災にあわれた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

■新潟市西区は液状化による被害が甚大です

特に善久、立仏、寺地、ときめき、寺尾、中野小屋などで被害が大きく、液状化の泥処理で出た土嚢袋は西区だけで33万袋に上っています。人的被害は少なかつたとは言え、道路の亀裂、陥没、隆起、家屋の損壊、傾斜、ブロック塀の崩れ、電柱の傾きや沈下など、道路被害路線数は約210本、建物被害は全壊が80件、半壊約2000件、準半壊・一部損壊約7000件と甚大な被害をもたらしました。この間、私は、地域を周って被災の状況を見て、心配ごとを聞かせていただけてきました。

土砂を撤去して欲しい、道路の陥没や段差を直してほしい、水が出ない、トイレが使えない、戸が閉まらない、余震があるごとに亀裂や傾きが増していく、ベットのいるので傾いた家から離れられない、子どもの体調が悪い、めまいや動悸で苦しい、持病がありいつまでこの状況が続くのか不安、液状化でどうやってこの家を修繕できるのか、経済の見通しが立たない、気持ちが落ち込む、希望が持てない、罹災証明書の判定が思っていたものでない、支援が受けられない…。多くの方が不安や心配を抱え、生活の再建を模索されています。

■新潟市の支援制度について

被災者支援制度は「災害救助法」や「被災者生活再建支援法」「激甚災害」の指定など、国の制度に則るものに加えて、新潟市でも、被害の状況に応じて支援の拡充や追加を検討してきました。4ページに「令和6年能登半島地震に関わる支援制度」をまとめました。西区議員団、県会議員、国会議員と連携して、皆さまの声を市に伝え、より使いやすく、お一人ひとりに寄り添った支援になるよう努めています。何かありましたらいつでもご相談ください。

■「被災窓口」の開設

新潟市は被災された方が、ワンストップで罹災証明書の交付と共に各種制度の相談ができるよう、被災相談窓口を1月24日より設置して対応にあたっています。罹災証明書の交付が支援の始まりになります。どうぞお早めに相談窓口にお出で下さい。会場では、各種制度の相談・申請と共に、「こことからだの心配ごと相談窓口」も設置しています。相談員がお話をお聞きしますので、些細な心配ごとでもお気軽にご相談ください。

■1月臨時会で能登半島地震への対応に関わる補正予算(211億円)が成立

新潟市議会臨時会が1月30日、31日に開かれ、一般会計の総額で約211億円の補正予算案が全会一致で可決・成立しました。液状化現象等の影響で住宅への被害が多く発生していることから、国・県の修繕支援制度に加え、住宅の建替や購入をはじめ敷地内の駐車場の修繕も対象とするなど、市独自の支援により住まいの早期復旧を後押しします。また、私道の復旧やブロック塀の撤去支援のほか、引っ越し費用の支援などを実施します。

大きな被害を受けた坂井輪中学校については、オンライン授業や、校舎に代わる施設の建設費用、心のケアのためスクールカウンセラーを学校に配置する費用が盛り込まれています。市長も「被災した人たちに寄り添い、課題を乗り越えていきたい」と語りました。私たち議員も、皆さまが、希望を持って生活の再建が図られるよう努めていきます。

新潟市議会議員

いしづき 幸子

2023年8月から2024年1月までの

主な活動報告

公務のない日は事務所仕事や市民相談を受けています。

2023年

- 8月4日 「新潟まつり民謡流し」に新潟市議会議員団参加
- 8月6日 「広島原爆犠牲者追悼式」と「灯りの会平和の集会」参加
- 8月22日～23日 新潟市議会女性議員の会「夏季研修会」参加
- 9月7日～9月28日 新潟市議会9月定例会
- 10月2日～10月12日 2021年度決算特別委員会
- 10月13日～15日 新潟市歴史と文化のまちづくり推進議員連盟「全国町並みゼミ小樽大会」参加
- 10月21日 女性つながりサポート事業「オータムほっとフェスタ」参加
- 10月29日 にいがたお米プロジェクト主催 第5回「秋のフードパントリー」参加
- 11月2日 新潟県女性議員の会魚沼ブロック研修「大地の芸術祭の取り組み」参加
- 11月12日 第60回護国大会第3分科会「女性支援法制定の意義」参加
- 11月14日～15日 新潟市農業活性化調査特別委員会行政視察(富山市)
- 11月16日 新潟県女性議員の会「県内視察研修 in長岡」参加
- 11月21日 新潟県女性財団設立30周年記念講演会参加
- 12月4日～22日 新潟市議会12月定例会
- 12月22日 新潟市女性議員の会「2024年度予算編成等にあたって」市長・教育長要望

2024年

- 1月5日 西区議員団と西区役所「能登半島地震対応」意見交換会参加
- 1月19日 新潟県女性議員の会「新潟県知事要望」「教育長要望」
- 1月30日～31日 新潟市議会1月臨時会

令和6年能登半島地震に関わる支援制度について

新潟市 HPより



生活や事業の再建を進める支援制度の概要をわかりやすくお伝えします。
*支援策は今後も追加される場合があります。(2月15日現在)

■罹災証明の交付について

罹災証明書交付の流れ

- 1 罹災証明書の申請
- 2 家屋の被害調査の実施
- 3 「調査済書」渡し
- 4 「送付のご案内」受取

被災相談窓口

- 9時～18時(土日祝含む)
- 西総合スポーツセンター(コスポ)～3月31日(日)
 - 黒埼総合体育館～3月31日(日)
 - 西区役所(健康センター棟)～2月29日(木)

相談窓口では罹災証明書交付から各種支援制度を相談・申請できます

- 罹災証明書の交付・固定資産税の減免の説明
 - 被災者生活再建支援金の申請
 - 災害援護資金貸付の説明
 - 住宅の応急修理の相談・申請
 - 液状化等被害住宅修繕の相談・申請
 - 被災家屋の解体・撤去/被害ブロック塀の撤去
 - 市営住宅・賃貸型応急住宅の相談
 - 上・下水道の減免申請
 - 個人市・県民税免除相談、市税徴収猶予相談
 - こことからだの心配ごと相談 など
- *罹災証明書の判定に納得できない場合は2次調査を申請できます。
*こことからだの心配ごと相談はどなたでもお気軽にご利用ください。

■主な支援制度について

*表の数値は支援の上限・最大額(単位:万円)

支援内容	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	一部損壊
被災者生活再建支援金	400	300	150	50	—	—
被災者住宅応急修理(受付3/29まで)	170.6	170.6	120.6	120.6	64.3	—
液状化等被害住宅修繕	150	150	100	100	30	10
液状化等被害住宅建替・購入支援	150	150	100	—	—	—
罹災証明不要 被災者転居費支援(3月受付開始)	15	15	15	15	—	—
罹災証明不要 ブロック塀等の撤去工事補助	20	20	20	20	20	20
水道料金・下水道使用料免除	●	●	●	●	●	●
被災家屋の解体・撤去(公費解体)	●	●	●	●	—	—
災害援護資金貸付	●	●	●	●	—	—
市営住宅の入居相談	●	●	●	●	—	—
賃貸型応急住宅の相談・申込	●	●	●	●	—	—

*支援制度は被災状況や補助率等によって変わってきます。また、多くの制度は受領前に進めることができます。相談窓口や担当課にご相談ください。

*私道の災害復旧(罹災証明書不要)、医療費などの支払い免除、各種保険料の減額・免除・支払い猶予、保育料免除等の支援制度もあります。詳しくは新潟市 HPから

■賃貸型応急住宅(みなし仮設)制度について

新潟市 HPみなし仮設について

民間のアパートや住宅を借上げ、応急住宅(みなし仮設)として提供する制度です。対象者は①全壊、②半壊で再利用できず解体を行う者、③応急修理制度を利用し修理が1か月を超える者、となっています。*詳しくは新潟市 HPから



いしづき 幸子事務所

(市民ネットにいがた西区事務所)

いつでもご相談をお寄せください

議会や委員会、視察等のない日は事務所にいます。市政に関する様々な相談にのっていますので、お気軽にご相談ください。必要場合は専門職や行政におつなぎします。(「あい・いからしの郷」の看板の奥です)

いつでもお立ち寄りください



皆さまの市政に関するご意見、ご質問、ご相談はいつでもお寄せください

いしづき 幸子事務所

(市民ネットにいがた西区事務所)

〒950-2076 新潟市西区上新栄町 3-4-83
TEL 025-201-8413 FAX 025-201-8423
sachiko-ishizuki@grace.ocn.ne.jp

市民ネットにいがた

市議会会派室
〒951-8550 新潟市中央区学校町通 1 番町 602-1
TEL 025-228-1000

自宅

〒950-2076
新潟市西区上新栄町 4-5-82
TEL 090-5318-5607



2023年
9月定例会
議会報告

一般質問
通告

- 1 非核平和都市宣言自治体としての本市の非核平和の取組について
- 2 奨学金制度について
- 3 新潟三越跡地再開発と本市のまちづくりの考え方について

1 「非核平和都市宣言」自治体としての本市の非核平和の取組みについて

- 2005年、非核平和都市宣言をすににあたっての経緯
- 今年の広島と長崎の平和宣言の市長の受け止めについて
- 今後の平和事業の取組みについて



石附質問趣旨

2005年に新潟市が「新潟市非核平和都市」を宣言し、平和事業を進めてきました。核の脅威が高まる中、被爆地広島と長崎市長の平和宣言は核兵器禁止条約批准へ踏み込んだものでしたが、G7広島サミット「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」は核兵器禁止条約に一切触れていません。非核平和都市宣言を行い、平和事業を推進してきた本市として、被爆者の気持ちを受け止め、国に対し、核兵器禁止条約第2回締約国会議のオブザーバー参加要請を行うべきと考えます。

市長 答弁

戦後60周年、政令市誕生の節目と併せ、原爆投下候補地に挙げられた本市から、非核平和を訴えていく必要があると2005年に非核平和都市を宣言しました。以後、様々な事業に取り組み、特に若い世代へ非核平和を伝えるため、広島平和記念式典に中学生を派遣しています。今回のG7首脳広島ビジョンに核兵器廃絶について明記されなかったことは、被爆者の期待に大きく反するもので、落胆された皆様の心情は理解できます。オブザーバー参加については政府の動向を注視していきますが、被爆者の想いを受け、核兵器の無い世界の実現を目指し、引き続き訴えていきます。

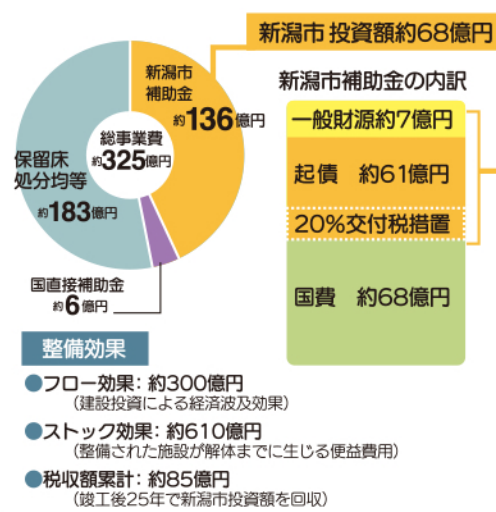
3 新潟三越跡地再開発と本市のまちづくりの考え方について

- 古町地区将来ビジョンと、容積率を大幅に緩和した三越跡地再開発超高層ビルは調和するのか
- 37階地上150メートル超高層タワーマンションの需要の見通しは
- 総事業費325億円における新潟市第一種市街地再開発事業補助金136億円について
- 136億円の税金の投入と本市が考える効果について市民の理解を得られるか

石附質問趣旨

新潟三越跡地再開発ビルは、地上37階、高さ150メートル、総事業費325億円の超大型開発プロジェクトであり、国と市から136億円の補助金が投入されます。古町の景観を一変させるこの事業に、慎重の立場から3つの視点で質問します。1つは古町のまちづくり、2つ目は超高層タワーマンションの必要性、3つ目は補助金136億円の妥当性。136億円の税金が投入されるにもかかわらず、多くの市民がこのことを知りません。情報を積極的に公開し、市民の関心を高め、納得のいく形で事業を進めるべきと考えます。

【事業費の概要（現段階の事業者想定額）】



2 奨学金制度について

- 奨学金制度の拡充と新たな奨学金事業の動向について
- 新潟市奨学金について、その現状と課題について
- 企業の返済支援の取組みと新潟市企業参加型奨学金返済支援事業補助金について

石附質問趣旨

奨学金はScholarship(スカラシップ)の意味で、本来は返済不要の「給付型」奨学金のことですが、日本の「貸与型」奨学金は本人が負う「教育ローン」です。2021年度は学生の約半分の148万人が奨学金を利用し、その多くは有利子の貸与型で、平均324万円を借り入れています。大学卒業と共に約300万円のローンを抱え、結婚や出産をためらう若者が多数います。奨学金制度の拡充や、本市の返済支援など奨学金事業の動向についてお聞きします。

教育長 答弁

国は給付型奨学金を2024年度より中間所得層の多子世帯の学生へ支援拡大の予定です。新潟市でも2007年から「新潟市奨学金貸付事業」を行っています。年額40万円を無利子で貸し付け、卒業後市内に居住するなど一定の条件で返還額が免除される制度で、これまで1,600人余りに貸付けを行ってきました。今年度より免除適用期間を廃止するなど、制度を拡充しました。また、2020年度に「新潟市企業参加型奨学金返済支援事業」を創設し、従業員の奨学金返済を支援する企業に対して補助を行っています。

三越跡地再開発ビル計画イメージ

世界的建築家の藤本壮介氏デザイン監修。斬新なデザインだが、外階段の緑地は新潟の気候風土に適すか、植栽の維持管理は、高齢者は散策するか、冬場人で賑わうか、いくつか疑問が残る。



都市政策部長 答弁

本再開発事業は、古町地区に商業、業務、住居などの都市機能を集積させ、新たな来街者や居住者を呼び込むことが期待されます。この事業は「第一種市街地再開発事業」であり、民間事業者に対し国および市の要項に基づき共同利用施設などの一部を補助するものです。全体事業費325億円、補助額136億円は現時点での準備組合による概算額となっています。この事業は民間の複数の関係者が再開発をする取組みで、情報が少ないことになろうかと思いますが、今後、詳細な設計が進む中でより具体的になっていく再開発事業の姿やその効果などについて、随時情報を発信し市民の皆さんの理解が得られるよう努めていきます。

2023年
12月定例会
議会報告

一般質問
通告

1. 困難な問題を抱える女性への支援策拡充について
2. すべての子どもたちに地産地消の魅力ある学校給食を
3. 幼児教育の重要性と市立幼稚園の果たす役割について

1 困難な問題を抱える女性への支援策拡充について

- 女性つながりサポート事業の継続実施について
- 児童扶養手当がひとり親家庭の生活の安定と自立となるために
- 母子生活支援施設を活用した産前産後、妊産婦支援について

石附質問趣旨

困難を抱える女性を保護の対象から権利主体とした「困難な問題を抱える女性支援法」が4月に施行されます。新法の精神を押さえて3つの質問をします。1つは「女性つながりサポート事業」の継続、2つはひとり親家庭の安定と自立促進のための「児童扶養手当」の拡充、3つは若年妊娠、困難を抱えひとりで産前・産後を迎える妊産婦に対し、母子生活支援施設「ふじみ苑」を活用し、産前産後・妊産婦支援を行うことを求めます。

市長・こども未来部長 答弁

本市では2019年より様々な困難や不安を抱える女性を対象に「女性つながりサポート事業」を実施し、効果的に支援を行うことができました。引き続き、NPOなどの知見や能力を活用し、寄り添った支援を行っていきます。また、国が児童扶養手当の所得制限の見直しを行うこととしましたので、本市としても必要な準備を進めていきます。「妊産婦等生活援助事業」は、家庭生活に困難を抱える妊婦や出産後の母子を支援する事業ですが、母子生活支援施設の活用には、いくつかの課題があり、先行自治体の事例を研究していきます。

3 幼児教育の重要性と市立幼稚園の果たす役割について

- 市立幼稚園の現状と課題、これまでの取組みの成果について
- 「預かり保育制度」の導入について
- センター的役割を担う市立幼稚園の今後の活躍について

石附質問趣旨

幼児教育の重要性を訴え、昨年に続き2度目の質問をします。私は、幼児教育の質を維持するには3つの要素が必要と考えます。1つは環境、2つは人材、そして3つ目として子ども集団です。市立幼稚園は恵まれた環境の中で、質の高い幼児教育の理論と実践を行い、他の幼児教育・保育施設に広めてきましたが、園児数の減少が大きな課題となっています。保護者に選ばれる幼稚園とするために、早急に預かり保育の導入を進めるべきと考えます。

新潟市女性議員の会「新潟市長・教育長要望」



12月22日、新潟市女性議員の会は「2024年度予算編成にあたっての要望書」を市長・教育長に提出しました。女性議員8人が共通する課題に取り組み、毎年、新年度予算に関して要望を行っています。今回は、子育て支援、女性の健康支援など、10項目、19点です。

これまで要望してきた、産後ケアの充実、生理用品の学校配置、ピアランスケアなどは制度が大幅に拡充しました。

2 すべての子どもたちに地産地消の魅力ある学校給食を

- 学校給食費の公会計化による効果と今後のスケジュールについて
- 「学校給食懇話会」の評価と提言を受けた今後の取組みについて
- 農業生産者と学校を結ぶ地産地消の推進について
- (仮称)「学校給食地産地消懇話会」の設置を

石附質問趣旨

今年度、学校給食において大きな取組みが2つありました。「学校給食費の公会計化」と「新潟市学校給食懇話会」の開催です。懇話会では、中学校全員給食、給食時間確保、地産地消の推進等を提言しました。地産地消では「本市の農林水産物の積極活用」と「生産者と学校現場をつなぐ機会を持つ」ことを提言しています。私は、生産者・JA・流通・加工業者などをメンバーとする「学校給食地産地消懇話会」の設置を提案します。

教育長 答弁

学校給食懇話会からは「今後の学校給食のあり方への提言」を頂きました。提言の内容を早期に実現できるよう、市長部局と一体となって取り組んでまいります。「学校給食地産地消懇話会」ですが、まずは地域生産者との連携や地場農産物の加工品の使用などの取組を着実に積み重ね、課題を整理し、様々な立場の方から意見を聞いていきます。



教育長 答弁

保護者ニーズ調査の結果からも、預かり保育に対するニーズが高いことは認識しています。現在、国の制度の効果的な活用や、平日や長期休業期間における保育体制のほか、市立幼稚園ならではの強みを生かした保育の可能性について、検討を進めております。来年度以降はモデル園において先行実施し、預かり保育の効果を検証するとともに、そこで得た知見を生かしながら預かり保育を実施する園数や実施方法について検討を進めていきます。

新潟県女性議員の会「新潟県知事要望」

1月19日、県内自治体女性議員で作る超党派の会で、8分野29項目の新年度予算に対する要望を行いました。特に今回は会長として人口減少対策、医療・福祉・防災など女性の視点で対応を求めました。

